

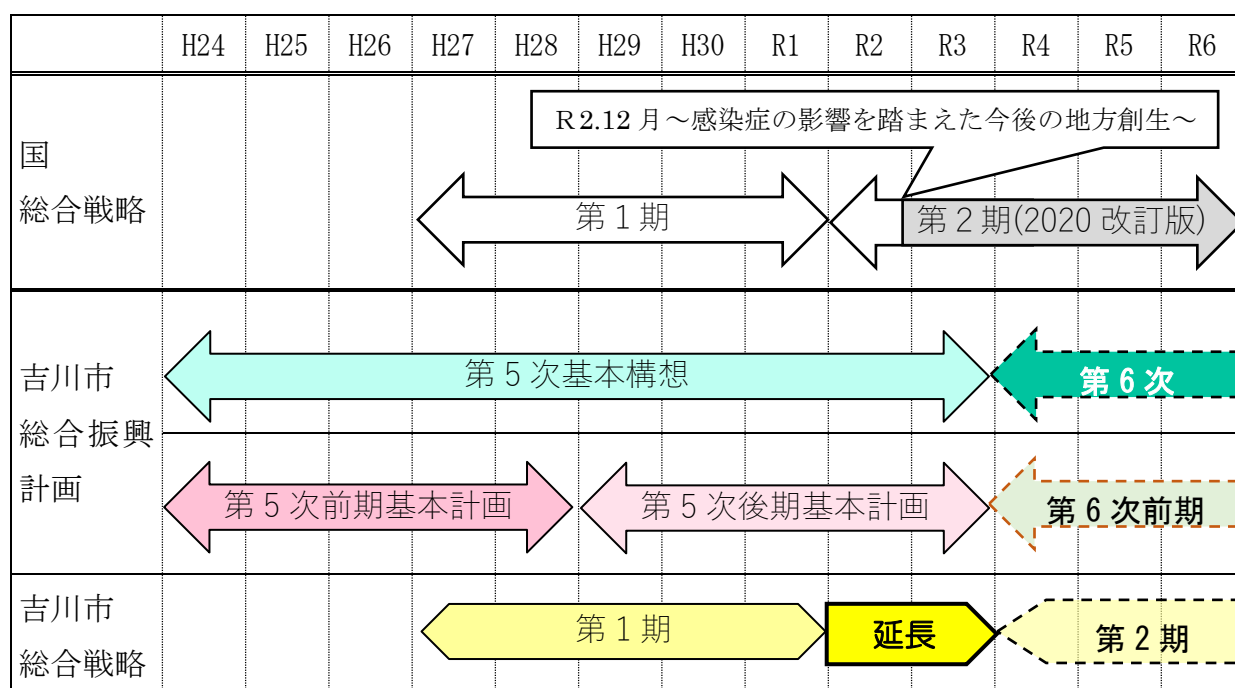
## 総合戦略及び総合振興計画の策定について

## 1 現行の総合戦略について

現行の総合戦略は、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や、第6次総合振興計画との整合性を図るため、令和元年度に下記のとおり改定しました。

<令和元年度改定における主な見直し点>

- 計画期間を2年間延長（令和3年度まで）
- 新たな要素の追加
  - ・「SDGs」、「Society5.0」、「関係人口」などの新たな要素を盛り込む。
- 将来人口推計の修正
  - ・吉川美南駅東口周辺地区の人口の張り付きについて、平成30年度からの張り付きとされていたが、区画整理事業の進捗に併せ、令和4年度からの張り付きに修正。この修正により、人口のピークが令和7年度から令和9年度へ変更。
- 事業の進捗などに併せ、具体的取り組みの整理
- 各指標の見直し
  - ・戦略期間の延長に伴う目標値の修正
  - ・基本指標の修正及び重要業績評価指標（KPI）の変更



## 2 次期総合戦略の策定について

今後、令和4年度を始期とする第6次総合振興計画の策定に併せて検討を行い、本市を取り巻く社会構造の変化等を的確に捉えた総合戦略を改めて策定します。

また、現行の総合戦略は、国の第2期総合戦略（令和元年12月策定）を踏まえたものですが、その後、国において令和2年12月に「感染症の影響を踏まえた今後の地方創生」として、第2期の改定がなされているため、次期総合戦略の策定時にこの内容を踏まえて検討します。

<国第2期総合戦略（2020改訂版）における政策の方向性>

資料2のとおり

## 3 総合振興計画及び総合戦略における人口ビジョン

人口は、施策の企画立案や今後の見通しを進める前提となることから、第6次総合振興計画の策定において、市の将来都市像やまちづくりの目標等を検討するための基礎資料として、計画期間の将来人口推計を行うこととしています。

一方、総合戦略においても人口の現状と将来を展望する「人口ビジョン」を策定することとなることから、総合振興計画と総合戦略の整合を図り、両者で同一の人口ビジョンを用います。